## 旬の鱈料理を食べよう！
## 「んだっ鱈（たら）、にかほ市へ！」を実施中

例年、伝統行事の「掛魚（かけよ）まつり」に併せて実施する、にかほ市内の飲食店・宿泊施設等で旬の鱈料理が食べられる「んだっ鱈、にかほ市へ！」を実施しています。

期間中**【1月13日（土）～2月4日（日）】**は、市内１８店舗で旬を迎えた特産の寒鱈を使った各種料理が食べられます。

昨年度に大変ご好評をいただいたメニューに加え、「鱈と冬野菜のポットパイ」や「たら福うどん」といった新メニューも登場するほか、昨年度に実施して大変ご好評をいただいた**「豪華！にかほの寒鱈セット」**が１０名様に当たる抽選会を今年度も実施します。

ピンク色ののぼり旗が目印になっていますので、ぜひ各店舗にお越しいただき美味しい鱈料理をご堪能ください。

**<特設サイト：http://www.ndattara.shoko-nikaho.jp/>**

特設サイト

## 商工会員限定の共済で万が一に備えましょう

### 商工貯蓄共済は事業者にとってのセーフティネットです

**商工会員だけの大きな特典**

商工会が提案する**4つの安心**サポート

| | |
|---|---|
| **経営指導**<br>経営のトータルサポート | **生命保険**<br>万が一に備えたリスク管理サポート |
| **資金繰り**<br>企業の資金繰りサポート | **貯蓄**<br>資産の充実サポート |

●月々掛金2,000円（1口）から加入できます！
●急な資金調達に「一部払出制度」をご利用できます！
※詳しくは商工会本支所にお尋ねください。

### 福祉共済に加入して「けが」や「病気」に備えましょう

「大切な商工会員の皆さま」だからこそ加入できる特別な制度です！

**「けが」の補償**
けがによる死亡・後遺障害、入院、手術、通院補償します。

**「病気」の補償**
病気による入院、手術等を補償します。
※けがの補償に付帯可能。

**トータル「がん」補償**
がん・けが・病気による入院、手術等を補償します。

●月々2,000円から加入できます！
●熱中症も対象。個人賠償責任補償付き！

## 新会員の皆さまのご紹介

| No | 事業所名 | 代表者名 | 業種 | 地区 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | JOAILLIER | 堤　哲平 | 美容業 | 象潟 |

おうちで作成ネットで申告　e-Tax（国税電子申告・納税システム）

**青色申告で節税と経営の合理化を図りましょう**

（事務局）〒018-0311　にかほ市商工会内　☎0184（38）3350

安心 安全
国がつくった
**小規模企業共済**
こんな悩みにお応えします

年金だけでは不十分で、不安がある
自分で積み増しするには、どんなものがあるの？

## 商工会のタイムリーな情報をご覧ください

**にかほ市商工会 ホームページ**
https://shoko-nikaho.jp/

**にかほ市商工会 フェイスブック**
https://www.facebook.com/profile.php?id=100054340086106

**にかほ市商工会 X（旧Twitter）**
https://twitter.com/Nikahoyankees

**にかほ市商工会 インスタグラム**
https://www.instagram.com/nikahoshigram/

**にかほ市商工会青年部 インスタグラム**
https://www.instagram.com/nikaho.impulse/



# 商工にかほ

第80号

[発行] にかほ市商工会
発行日：令和６年１月１日

**金浦本所**
〒018-0311　秋田県にかほ市金浦字十二林158-9
TEL:0184-38-3350　FAX:0184-38-3930

**象潟支所**
〒018-0116　秋田県にかほ市象潟町字四丁目塩越76-2
TEL:0184-43-3450　FAX:0184-43-5393

**仁賀保支所**
〒018-0402　秋田県にかほ市平沢字鳥ノ子渕21-3
TEL:0184-36-3507　FAX:0184-36-3104

# 『にかほマルシェ』を初開催！地域経済の活性化を図る

女性部による新郷土料理「にかほがんも」の振る舞い

旬の野菜や鮮魚、惣菜などが人気の「出前商店街」

大人と子どもが一緒に楽しめる体験教室を実施

１２月１６日（土）、株式会社プレステージ・インターナショナル秋田ＢＰＯにかほキャンパスを会場に、出前商店街や体験型ワークショップ、新郷土料理の振る舞いなどを行う「にかほマルシェ」を開催し、500名以上の方々にご来場いただきました。

初開催となった「にかほマルシェ」は、当会が推進する「商工会成長プラン’22-26」の独自戦略に掲げる「住民参加型の新コミュニティビジネスの創出」を実現するため、地域課題の解決や地域経済を活性化することを目的に試験的に実施しました。　（詳細は☞Ｐ３）

にかほ市商工会長
齋　藤　　聡

## 年頭に当たって

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は当会に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。
はじめに、令和６年能登半島地震において亡くなられた方々には謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された多くの皆様に心よりお見舞いを申し上げます。
さて、昨年は５月に新型コロナ感染症の対応が５類に変更になり、様々な行事が従来通り開催され、平常を取り戻す年になった一方で、県内では７月の秋田市、五城目町、県北部などの大雨災害、夏の記録的猛暑による農作物の被害、熊の大量出没など災害の多く発生した年となりました。地域経済も原材料価格やエネルギー価格の高騰、人手不足の深刻化、インボイスへの対応等、諸課題に直面した年でもありました。
当会事業としては、「商工会成長プラン‘22-26」が２年目を迎え、「事業者とともに挑み続け、地域活力を創出する商工会」のスローガンのもと、概ね順調に推移しております。本年も新型コロナで痛手を受けている事業者には、よりきめ細かい、手厚い支援が必要であると考えておりますので、引き続き県連合会、行政との連携、協力により推し進めてまいります。
また、事業者自らによる創意工夫と自主的な努力を尊重した支援を目的とした、経営発達支援計画推進事業は５年目を迎え、今年度でいったん終了しますが、来年度から新たに５年間の計画を申請中であり、採択の暁には、ＩＴ化やＤＸの促進を強力に進めてまいります。
県連合会では昨年１０月に「秋田の未来を創る協議会」を設立しました。人口減少の中、「地域の発展なくして事業者の発展はない」との考えで、これらを通して出されたアイデアを計画、実現させ、秋田県、にかほ市の発展に寄与していきたいと思います。
今年の干支は「甲辰（きのえたつ）」で、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」年になるといわれております。当会といたしましては、昨年の総代会でご承認いただいた「本支所を統合のうえ事務局を金浦地区に移転」を実現したいと思います。
結びに、令和6年が会員の皆々様にとりまして良き一年でありますよう、ご健勝とご繁栄を心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

にかほ市長
市　川　雄　次

## 新年のご挨拶

新年、おめでとうございます。
会員の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
また、日頃から市の産業振興に対し、ご理解とご尽力をいただいておりますことに心から感謝を申し上げます。
昨年を振り返りますと、急激な円安の進行や物価高騰などが市民生活や経済活動に大きな影響を及ぼした１年でした。
一方で、３年もの間、猛威をふるい続けた「新型コロナウイルス感染症」は感染法上の取り扱いが５類に移行されたこともあり、これまでの行動制限や経済活動の制限が解除され、本市においても人の流れが大きくなってきております。これらを踏まえ、市では地域経済活動の回復に向け各種対策を講じており、中でも「生活商品券『にかほっぺんクーポン』」は、多くの市民の皆様や飲食業者、商業者から高い評価をいただいているところであります。
さて、商工会は、地域の中小事業者の身近な支援機関として、経営改善普及や事業承継への助言など様々な役割を果たしております。
しかしながら、少子高齢化や人口減少問題が年々拡大していることなどに伴い、中小企業や小規模経営者は、事業主の高齢化や事業承継、消費活動の多様化など将来に向けた多くの課題を抱えております。こうした中、現在、商工会と市は共同で、今年４月からの５か年計画である「第２期経営発達支援計画」を策定しております。第１期計画では各事業者に寄り添い「伴走型」で事業者の経営基盤の強化等を支援してきておりましたが、第２期計画では各事業者が「自走」できるよう支援する内容となっております。
市では、引き続き商工会と連携しながら、市内商工業者の支援と本市の産業振興に取り組み、未来のにかほ市に夢を持ち、次の世代に誇りをもって引き継ぐことができるよう各種施策を推進して参ります。
結びになりますが、地域商工業活性化の推進の担い手である商工会員の皆様が飛躍され、迎えた新しい年が皆様にとりまして幸多き年になりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。





## 「商工会成長プラン‘22-26」に掲げる2つの独自戦略に基づき事業を実施しています

商工会は１０年先のあるべき姿を見据え、その実現のための具体的な取組をまとめた２期目の計画である「商工会成長プラン‘22-26」に基づき事業を実施しています。
地域外の新たな需要拡大への取組を支援する一方で、外部から得た先進的技術等を活用し地域内で好循環を生み出す取組を支援しています。今回はこれらの「独自戦略」の一部をご紹介します。

### 商工会成長プラン独自戦略 ①

**「コミュニティビジネスによるにかほ市の内需拡大の推進」**

**➡地域課題の解決や地域経済の活性化を目指して「にかほマルシェ」を開催！**

にかほ市は人口減少による市場縮小や、高齢化による買い物困難者の増加など様々な地域課題を抱えています。商工会では、「新たな地域内需要の創出」を見据え市内事業者や専門家、行政、県連合会のほか、「若者の視点」や「外部の視点」からヒントを得るため国際教養大学生・留学生を迎え、買い物困難者対策などの地域課題を解決しながら、**新しい地域内需要を作り出す取組を検討**しました。そこで、当地区で長年行われている「出前商店街」に着目し、**既存の取組を検証**したうえで「にかほマルシェ」を試験的に実施することとなりました。事業者同士の連携で相乗効果を高め、さらには体験型ワークショップ、新郷土料理の振る舞いなど新たに地域住民が参加できる学習の要素を含む取組として実施することができ、来場者からは「普段できないことを体験できた。」、「地元の食材を知る機会になった。」、といった声をいただき大変好評でした。当事業内容や結果を分析したうえで今後の取組に活かし、地域内需要の創出につなげていきます。

大学生・留学生による既存事業の現地調査

新コミュニティビジネス検討会議で新たな取組を検討

### 商工会成長プラン独自戦略 ②

**「“ものづくり”を起点としたにかほ市経済における好循環の推進」**

**➡新商品開発や商談会への出展、ECサイト活用等に向けた集合･個別型支援を実施！**

事業者を取り巻く環境が目まぐるしく変化する社会情勢の中で、商談会への出展やＥＣサイトの構築により地域外へ自社の商品をＰＲし、新たな販売機会を創出することはますます重要になっています。しかし、「どのように商談会への出展に向けた準備をすれば良いのか。」、「どのような商品を開発し地域外へＰＲしていくのが効果的か。」など、事業所ごとの悩みや不安がうかがえます。そこで商工会は、そのような悩みや不安を解決するため、専門家と連携した全面サポートにより、商談会出展者への**集合型研修**や新商品開発・販路拡大に関する**個別支援**を行っています。「地域外への販路拡大に興味はあるけど、最初の一歩が踏み出せない…」という方は、手厚い支援メニューをご用意していますので、お気軽に商工会へご相談ください。
私たちとともに地域外への販路拡大を実現しましょう！

商談会への出展に向けた事前研修会の実施【集合型研修】

新商品開発や販路拡大をサポート【個別支援】